

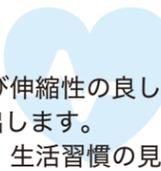
検査項目一例

生活習慣に関わる様々な検査をご用意しております。

採血を伴わない検査項目（非血液検査）

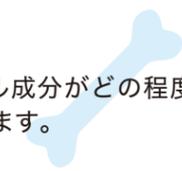
血管年齢

指先に光をあて、血管の拡張・収縮速度ならび伸縮性の良し悪しを判断し、血管の状態が何歳に近いかを算出します。血管のしなやかさがどの程度かの目安となり、生活習慣の見直しに役立ちます。



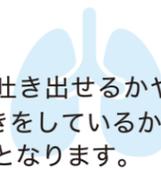
骨チェック

手首に超音波をあて、骨を構成するミネラル成分がどの程度しっかり詰まっているのかを5段階で評価します。骨粗しょう症の目安となります。



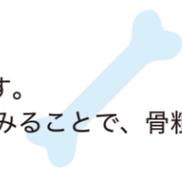
肺年齢

息を勢よく吐き、1秒間にどれだけ力強く吐き出せるかや、吐けた息の量を指標とし、肺が年齢相応の働きをしているかどうかを測定します。COPD（タバコ病）の目安となります。



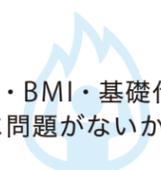
骨密度

かかとに超音波をあて、骨の強さを測定します。若年者と比べ何%程度維持できているのかをみることで、骨粗しょう症の目安となります。



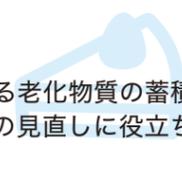
体内年齢

裸足で機器に乗り、体重・体脂肪率・筋肉量・BMI・基礎代謝量から体内年齢を算出します。今の体格に問題がないか、生活習慣の見直しに役立ちます。



AGEs 糖化測定

指先に光をあて、過剰な糖の摂取で生成される老化物質の蓄積度を測定し、5段階で評価します。生活習慣の見直しに役立ちます。



内臓脂肪

立った状態で素肌のお腹にベルトを巻き、微弱な電気を流しておへその位置での内臓脂肪の面積を測定します。生活習慣の見直しに役立ちます。



転倒リスクチェック

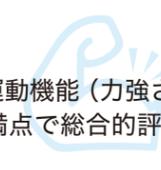
椅子から立ち上がる際の脚の筋力とバランスを測定し、力強さ・スピード・バランスを3段階で評価します。内的要因による転びやすさの目安となります。



筋肉スコア

素足で機器に乗り、全身の筋質の状態や、脚の運動機能（力強さ・スピード・バランス）の状態から1～150点満点で総合的評価を算出します。ロコモ*の目安となります。

*ロコモ：運動器の衰えによる移動機能低下状態のこと



採血を伴う検査項目（血液検査）

血液検査は、指先からの微量自己採血で気軽に測定



- ① ご自身で指先に使い捨て針をあて、ボタンを押して採血
- ② 看護師等有資格者が試薬に血液を付け、検査機器に挿入
- ③ 結果判明後、ご説明と生活アドバイスをいたします

※血液検査は空腹状態での検査が基本となります。
※血糖値とHbA1cは、食後でも食後血糖として検査可能です。

血糖値

検査直前の食事時間に応じて、空腹時血糖または食後血糖のいずれかを測定します。血糖値が高いまま下がらないと、糖尿病などの病気リスクが高まります。



HbA1c

検査直前の食事の影響を受けずに過去1～2ヶ月の血糖の平均的な状態を反映するので、血糖管理に有効です。



脂質セット

中性脂肪、HDL・LDL・Non-HDLコレステロールがわかります。脂質異常症の指標となります。



肝機能セット

AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTP、血糖値、中性脂肪がわかります。肝臓の状態を知る目安となり、お酒をよく飲む方におすすめです。

